

2006年8月21日

株式会社フィスコ (3807 大証ヘラクレス)

「ひまわり証券」が株式オンライン取引を開始、 「フィスコ」が顧客向けに株式情報を提供

株式会社フィスコ(代表取締役:三木茂、本社:東京都千代田区)は、ひまわり証券株式会社(代表取締役社長 山地一郎 本社:東京都港区)が株式のオンライン取引を開始するにあたり、顧客会員向けサービスとして株式情報(22種類)を提供します。

2006年9月1日の株式取引業務開始に先がけ、8月21日(月)により口座開設申し込みを受付開始しますが、この機に合わせてホームページをリニューアルし、サービスとユーザビリティのクオリティアップをはかります。「フィスコ」を採用していただくにあたり、ひまわりホールディングス株式会社内田久義様にお話を伺いました。

「情報提供面の拡充を目的に採用を決めました。期待しているのは、ずばり、内容と知名度です。情報量のバランスが良いと思われます。具体的に弊社のような証券会社であればデリバティブと株式のバランスが大事と考えています。」

「フィスコ」が提供する情報について

ひまわり証券に提供するものは、株式を中心とする22種類の情報(TOPIX先物、JGB先物関連含む)。寄付き前の海外市場動向、当日の市場見通しと投資戦略、取引時間中の市場動向や、個別銘柄情報など、個人投資家の取引をサポートするタイムリーな情報をお届けします。

「ひまわり証券」について URL: <http://sec.himawari-group.co.jp/index.cfm>

国内で初めてFX(外国為替証拠金取引)サービスを個人投資家向けの提供を始めた会社。従来の株価指数先物・オプション取引、国債先物取引、外国為替証拠金取引などに加えて、2006年9月1日より株式オンライン取引を開始。

【Hits 株式】簡単でシンプルな操作感にこだわり、使いやすい取引画面になっています。手数料も5,000万円までの発注で、約定ごとに一律735円(税込)となっており、約定金額に応じて段階的に手数料が上がるボリューム制よりもリーズナブルとなります。

株式会社フィスコ 会社概要 URL: <http://www.fisco.co.jp/>

社名:株式会社フィスコ(大証ヘラクレス:3807)(英文表記:FISCO Ltd.)

本社所在地:〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目1番28号 九段ファーストプレイス7階

設立:1995年5月 資本金:703百万円 代表者:代表取締役 三木 茂

事業内容:金融プロフェッショナル向けリアルタイム情報配信事業

情報サービス事業(法人向け情報及び個人向け情報)

コンサルティング事業(投資の運用及び事務管理を含む)及び教育事業

この件に関わるお問い合わせ

株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp> 広報室:服部 adminir@fisco.co.jp

TEL:03-5212-8790 FAX:03-5212-8787

【ご参考】

ひまわり証券といえば FX、といわれるように、デリバティブ取引に強い証券会社として支持されている存在です。そのため既存各社がしのぎを削る激戦区、株式取引市場へ参入することに対し「どうして?」「なぜ今?」と思う方も少なくないのでは。そこで、前述の内田様にお話を伺いました。

【Q】今から参入される理由、そして勝算は?

【A】証券投資分野においては、やはり絶対的に株式のシェアが一番です。当社の前身が商品先物会社であったことから、豊富に蓄積された証拠金取引に対するノウハウを活かし、デリバティブに特化した証券会社というイメージ戦略をとってきました。しかし株式そのものを売買なさりたいお客様が他社に流れるということも事実としてあったと思われまます。お客様のニーズがあるなら、そのまま当社でお取引頂けるようにしたほうが便利だろうと考えました。逆の流れで株式取引からデリバティブや FX のような取引へと範囲を広げられるお客様にとっても、証券の品揃えが揃っている証券会社であるほうが当然ながら使いやすいわけです。

参入タイミングはいい、と考えます。2005年後半は株を買って継続保有するだけで利益が確保できましたが、投資家の多くの方にとって今年の春以降は儲けを出すことは難しかったと思います。とくにライブドア事件以降、相場が下げることに對して初心者の方は太刀打ちできなかったのでは。当社は、証拠金取引(証券デリバティブ)をヘッジのツールにする事もノウハウとして蓄積しており、今のタイミングは投資家にとって、当社の利用を検討していただくのに有利な時期と考えています。

以上